

「あなたの店舗、 人や物探しでまだ走り回ってますか？」

- 商品入荷時など、1対1ではなく大勢に連絡したい
- 館内放送を業務連絡として使いたくない
- バックヤードとの連携が取れない
- 店長や課長など、従業員を探すのが大変 etc...



I N D E X

1. 小売現場は課題がたくさん
2. そんなあなたの現場の課題を解決
3. 小売業界の情報連携に必要な機能がBuddycom 1つで 
4. お客様導入事例
5. 店舗管理で活躍するIoTとの連携
6. 店舗管理におすすめなスマホ活用方法
7. 無料トライアルで実際に使ってみよう
8. 会社概要

1. 小売現場は課題がたくさん

インカムやスマートフォンを導入していない店舗

- 人や物を探すのに、**店舗内を走り回っている**
- 業務連絡にまだ店内放送を使っているがお客様に聞かれたくない
- お問い合わせ時や在庫管理を、バックヤードと連携したい
- 電話を使って**1対1**でコミュニケーションをとっている

インカムやトランシーバーを導入している店舗

- 異なる階層やバックヤードではインカムやトランシーバーの**電波が届かない**
- コミュニケーションや業務をスマートフォンで実現したい
- ITリテラシーが低い従業員が多いため新ツール導入が不安



■オペレーション課題

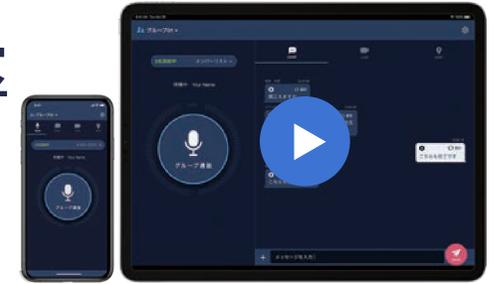
小売りであればフロア内やバックヤードのスムーズな連携が、**客単価や回転率を高めるために必要**。インカムでは通話距離に制限があり通話が届かない。店舗の外から店舗を支援するのは電話。店舗スタッフは通話に出られない。

■コミュニケーション方法

- 店内を駆け回っての直接伝達、または既存のインカムを利用しているケースが多くみられる。
- **チャットツール**を活用する場合、作業中の文字入力が困難。
- 店舗の外からの遠隔支援は不可。電話は1対1で時間がかかりすぎる。

Buddycomを使えば、小売現場の課題を全て解決

3G、4G、5G、LTE、Wi-Fiなどのインターネット回線を使用し、高品質、かつ、リアルタイムなチームコミュニケーションが可能。
電話、無線機、トランシーバー、インカムに代わるシステムとして、現場のDX化を促進。



1分動画を見る

人や物を探すのに、店舗内を走り回っている

業務連絡にまだ店内放送を使っているがお客様に聞かれたくない

お問い合わせ時や在庫管理、バックヤードと連携したい

電話を使って1対1でコミュニケーションをとっている

異なる階層やバックヤードではインカムやトランシーバーの電波が届かない

コミュニケーションや業務をスマートフォンで実現したい

ITリテラシーが低い従業員が多いため新ツール導入が不安



店舗内を走り回る必要なく、その場で情報連携ができる



店内放送を使うことなく、業務連絡ができる



従業員は知りたいことがあれば、その場で質問ができる



端末の2台持ちがなくなり、グループでコミュニケーションが取れる



インターネット通信を使うので、どこにいてもつながる



インカム、業務ツールをスマホに1台に集約でき、持ち歩く端末が減る



メインボタンを押すだけで使える

【電話使用時】の従来の課題が解決！

課題1

1:1でしか会話できず、
チームで情報を共有する
場合不便



課題2

スマホの電話帳を開き電
話かける必要があり、
時間がかかる



課題3

通話データが残らず、あ
とから確認・二次利用で
きない



グループ通話

現場スタッフと管理する側の情報の共有
がスムーズにできます。相手の終話を待
たずに発信できます。



一瞬で会話開始

イヤホンマイクやスピーカマイクを使って
一瞬で会話開始。会員登録や音声認識で会
話できるモードもあり。



会話は自動保存

通話内容はテキスト化し自動保存。あと
から簡単に確認でき、ダウンロードもで
きます。2次利用可能。

【トランシーバー、インカム使用時】の従来の課題が解決!

課題1

広範囲で会話できる専用機は**価格が高く**結局電話と二台持ち



課題2

通信距離の制限があり、**近い距離**しか通話が届かない



課題3

グループ数に制限があり、**混信、盗聴**のリスクがある



低コスト

現場スタッフと管理する側の情報の共有がスムーズにできます。相手の終話を待たずに発信できます。



世界中で話せる

通話内容はテキスト化し自動保存。あとから簡単に確認でき、ダウンロードもできます。2次利用可能。



大規模な運用

イヤホンマイクやスピーカーマイクを使って一瞬で会話開始。会員登録や音声認識で会話できるモードもあり。



高セキュリティ

イヤホンマイクやスピーカーマイクを使って一瞬で会話開始。会員登録や音声認識で会話できるモードもあり。

スマホインカムBuddycomが小売現場で必要とされる理由

かんたん

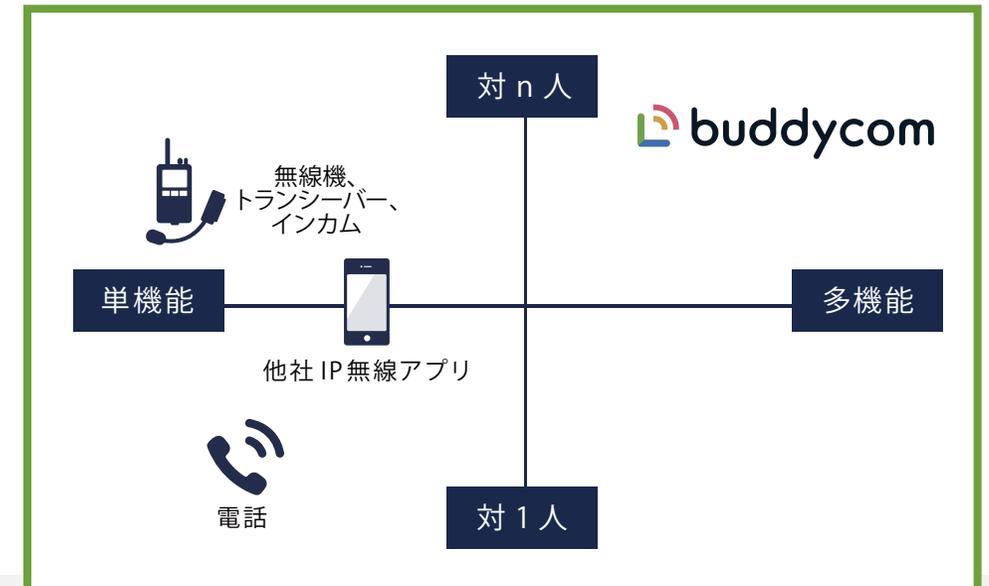
国籍、人種、
年齢に関わらず、
誰でも使える

間違わない

操作ミスや想定外の
動きが起こらない

速い

刻々と変わる
状況に対応した
情報共有のスピード



Buddycomの利用シーン

- 売り場や接客担当のスタッフが、バックヤードや遠隔地の本社含めた他スタッフとの連携で活用。
- スマホひとつで、既存の店舗系システムとBuddycomの両方を操作できればより効率化できる。



- ✓ レジの応援依頼や在庫確認を、離れたスタッフ間ともリアルタイムで実現。
- ✓ 音声だけでなく文字（音声読み上げ）、画像、映像での共有も可能。
- ✓ 映像を共有し、本社スタッフやマネージャーが遠隔で店舗を支援。
- ✓ クレーム時は、マネージャーが現場の状況を即座に把握し初期対応。
- ✓ 音声テキスト化機能により言った言わないを防止。引継ぎメモにも使える。テキストと録音音声を確認すると、当日の状況、温度感が分かる。

■ スマートフォンを導入していれば、Buddycomを今すぐ使える

スマートフォンを導入するのが一番の課題である現場も多いと思いますが、スマホが入っていればBuddycomアプリをインストールしてすぐに使い始められます。

■ ITリテラシーがなくても簡単操作

パートの主婦や高齢者等、スマホ操作を苦手とするお客様が多いですが、メインボタンを押すだけで誰でも簡単に利用できます。

音声通話



● グループ通話、双方向通話

通話ボタンを押すだけでグループのユーザーへ一斉に発信ができます。ユーザー数、グループ数は制限なし。1グループあたり2,000ユーザーへの同時発信を検証済みです。発信する際は電話のように双方向に話せ、受信も複数グループの会話を同時に聞くことができます。

● メリット

話すまでのステップが少ないので、隣にいるような感覚で全体への情報共有が図れます。

チャット



● 音声テキスト化、聞き直し、定型文、翻訳

文字や画像でのコミュニケーションや、話した内容の聞き直しはもちろん、文字で送った内容の読み上げ、音声のテキスト化に対応しております。また、音声と文字は設定した言語に翻訳することも可能です。

● メリット

聞き逃したことを後から何度でも確認できます。多国籍な現場でも円滑なコミュニケーションを実現します。

ライブキャスト（映像共有）



● 映像共有＋音声通話

現場の状況をライブ映像で共有しながら、話すことができます。映像でも遅延することなく共有できることに強みがあります。

● メリット

音声や画像だけでは伝えにくい情報でも、映像を見せながら会話することで、正確な情報共有を実現します。

MAP 通話



● 位置の確認、範囲通話

ユーザーの位置情報の確認、MAP上の指定した範囲にいるユーザーとの会話ができます。

● メリット

緊急時に現場に近いユーザーとのみ話したい、同じエリア内で情報を共有し、連携を図りたいといったニーズに応えます。

エンドツーエンド暗号化(E2EE)



● 機能

1つのデバイス(たとえばスマートフォンやPC)でメッセージを暗号化し、送信先のデバイスでしか復号できないようにする技術。音声・チャット・映像・位置情報のE2EE対応を実現しております。

● メリット

万が一、通信やサーバーでの傍受がされても、解読できないため、機密性の高い現場でも安心して利用することができます。

ディザスタリカバリー対応



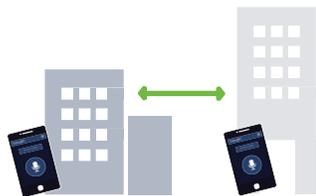
● 機能

サーバーは日本だけではなく、アジア、ヨーロッパ、北米の4リージョンの構成で同時稼働しております。障害発生時は自動で切り替え、24時間365日のサービス提供を確実なものとしております。

● メリット

災害などの発生時にも利用することができるため、ミッションクリティカルな現場でも利用することができます。

企業間通信



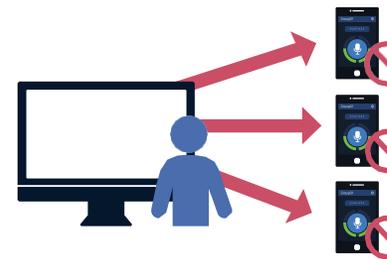
● 機能

契約が異なる企業のユーザー同士でも、1つのグループを作成し、グループコミュニケーションが図れる独自サービスです。

● メリット

同じ現場で働いている別会社、現場と本社でのコミュニケーションができます。また予実管理の都合上、部署ごとに分けて契約を行った場合でも、異なる契約ユーザー同士でコミュニケーションができます。

アプリ設定の一括管理・機能制限



● 機能

管理コンソールでスマホアプリの設定や機能を一括管理できます。ユーザーの予期せぬ操作、設定変更も防止できます。

● メリット

たくさんのユーザー数でも、簡単な管理を可能とし、社内統制の徹底ができます。

3. 小売現場の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

サービス概要

Buddycomはデスクスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォームです。トランシーバーのような音声通話だけでなく、翻訳・映像・位置情報に加え、AIを利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションを実現しました。スマートフォンやタブレット向けのアプリをリリースしており、Windows向けにもβ版を提供しております。主に店舗や交通インフラなどの現場部門でご利用頂いており、円滑なコミュニケーションを提供することを通して、動線の削減やお客様サービスの向上のサポートをしています。

料金体系

初期費用：なし
月額料金：ID数によるサブスクリプション型の課金
右記の4つのプランをユーザー標準価格として提供しております。

プランについて

Buddycomは4つのプランを提供しております。音声通話のみのTalk Lite、音声通話に映像配信を加えたLivecast Lite、これらにテキスト化や翻訳、高セキュリティな機能を加えた、Talk EnterpriseとLivecast Enterpriseから構成され、お客様のニーズに応じて様々な機能を提供しております。

利用シーン	無線・トランシーバーとして利用		映像配信として利用	
プラン	Talk Lite	Talk Enterprise	Livecast Lite	Livecast Enterprise
年契約 (一括払い、税込み)	660円 (税抜価格 600円) ユーザー / 月相当	1,100円 (税抜価格 1,000円) ユーザー / 月相当	1,650円 (税抜価格 1,500円) ユーザー / 月相当	2,200円 (税抜価格 2,000円) ユーザー / 月相当
※月契約もごさいます	7,920円 (税抜価格 7,200円) ユーザー / 年	13,200円 (税抜価格 12,000円) ユーザー / 年	19,800円 (税抜価格 18,000円) ユーザー / 年	26,400円 (税抜価格 24,000円) ユーザー / 年

[料金体系の詳細を見る](#)

※全て税込の金額となります。

3. 小売現場の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

簡単



初期費用



導入コスト



スマホがあれば初期費用もかからず、アプリをインストールするだけで簡単に利用開始。シンプル操作で導入コストもかかりません。

アクセサリ(周辺機器)を利用すれば、ハンズフリーで通話できます。

必要な構成

iOS Android

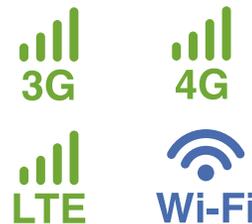


Buddycomアプリ

全キャリアで利用可能



スマホ/タブレット



データ通信/Wi-Fi



周辺機器(推奨)

99%お客様がアクセサリを使用しています。

小売現場のニーズに合わせて、様々なアクセサリの仕入・販売を行っております。



■イヤホンの使い方

- 複数のボタンがついているBluetoothイヤホンマイクを活用。
- 通話ボタンを押している間だけ発話。
- 定型文機能を活用し、レジ応援等の支援依頼をボタンを押すだけで実現。
- イヤホン部分は交換できるので、衛生的。マイク本体は使い回し、イヤホンは全員へ配布。

■おすすめイヤホン

- Bluetooth対応 <MKI-P3>

[全ての周辺機器を見る](#)

 イオンリテール(株)

導入事例を見る

「人・物・場所を探す時間」を大きく短縮し、 お客さまサービスが向上

導入前の課題

人時不足の常態化と非効率な接客対応が課題。

利用シーン

店舗内のスタッフに導入。従来、店内放送で行っていた、レジの応援要請や、お客様からの質問に対して、その場で答えられない場合の確認などに利用。

導入の効果

- 音声通話での一斉発信によって、全スタッフへの通知・確認ができるため、お客様をお待たせする時間が減少。
- 離れたスタッフともスムーズに情報共有ができることで、人・物・場所を探す時間が減り、従業員の移動距離は導入後に1/2まで削減。
- 録音した音声の聞き直しができるため、聞き取りにくい時などにも対応を可能に。



導入事例動画を見る



4. お客様活用事例



株式会社島忠

導入事例を見る

スマートフォンにすべてを集約、 まずは内線とインカムから。

導入前の課題

インカムは故障が多く、修理にコストがかかっていた。
PHSだけでは1vs1のコミュニケーションになるので情報伝達が遅くなる。

利用シーン

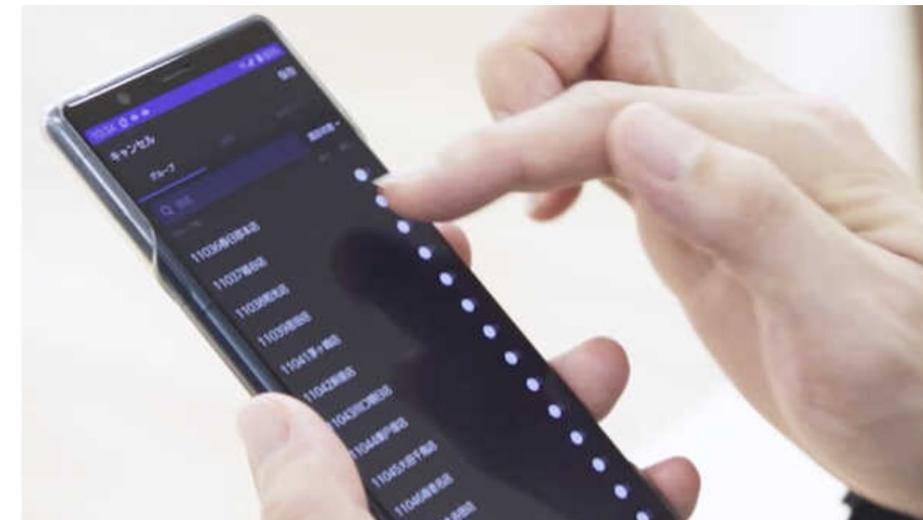
島忠・HOME'S全店舗でBuddycomを活用中。
お客様対応時の従業員の呼び出しや、レジ応援、商品のお問い合わせ等で利用。

導入の効果

- 所持する機材がスマートフォン一つになったので従業員の負担軽減
- 幅広い年齢層の従業員でも、直感的な操作が可能。
- 従来のインカムより、音質が大幅に改善。



導入事例動画を見る



労働人口が減っている今こそ… 現場に「仮想従業員」を配置

SOLUTION



定点カメラ × AI × Buddycom

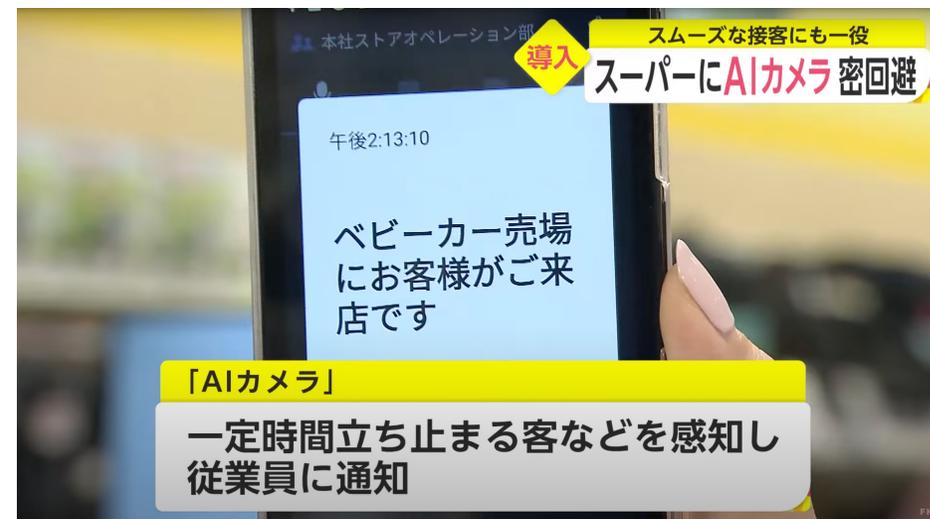
店舗内の状況に応じて、お客さまが同じ売場に滞在している場合や混雑検知、不審者検知など、リアルタイムに行います。

with Buddycom

AIカメラ連携動画を見る



イオンリテールでの活用事例がTVで放映



AIカメラ連携動画 を見る

広い店舗を巡回せずに、接客機会のロスを削減

SOLUTION



with Buddycom

呼び出しボタン デジちゃんむ × Buddycom

- 店舗でお客様がスタッフを呼べる仕組みが欲しい
- 呼出ボタンがあるが、スタッフが気づけないことが多い
- お客様からの呼出を「音声」で耳で受け取りたい
- お客様からの呼出対応を記録として残したい

デジちゃんむ連携動画を見る



お客様はQRコードをスマートフォンで読み込むだけでスタッフを呼び出すことができます。アプリのインストールは不要です。



スタッフはBuddycomを通して、合成音声で読み上げされた音声をスマホに触ることなく自動的に音声で受信して気づく事ができます。その後の誰が対応するかなどのやり取りもBuddycomを通して会話できます。

Buddycom with Things その他IoT連携も随時開発中

Buddycomは、人と人のコミュニケーションだけでなく、人（Human）と、あらゆる情報（Things）の、コミュニケーションを可能にします。



お客様に聞いた、Buddycomと一緒に使っている機能・アプリ

※お客さまへのヒアリングに基づいたものであり、当社が推奨や連携しているものではありません。

	Google検索		Slack (チャット) Buddycom連携		Shopらん (多店舗管理)
	電卓		LINE WORKS (チャット) Buddycom連携		Teachme Biz (マニュアル作成)
	自社作成のマニュアル (PDF等)		SCANDIT (バーコード読み取り) Buddycom連携		
	はたLuck シフト管理		デジちやいむ (スタッフ呼び出し) Buddycom連携		

Buddycomを試してみませんか？

Buddycomは10ユーザーまで1ヶ月無料でトライアルができます。
実際に触ってみて、使い心地をお試ください。

無料トライアルを申し込む

トライアル費用は発生しません。
トライアル終了後は、解約等の操作は必要ありません。



お役立ち資料ダウンロード



無料トライアル手順はこちら

8. 会社概要

会社名	株式会社サイエンスアーツ
所在地	東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル7階
代表者	代表取締役社長 平岡 秀一
設立	2003年9月19日
資本金	50百万円
従業員数	25名 (2021年11月末現在)
ミッション	世界中の人々を美しくつなげる
事業内容	デスクレスワーカー※をつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom (バディコム)」の開発・販売
Buddycomリリース	2015年9月



証券コード：4412

2003年創業。

当社代表である平岡が、高齢の父親がスマホでメールしている際、キーボード入力に苦労している姿を目の当たりにして、「複数人ともっと簡単にコミュニケーションできないか」と問題意識を持ち、音声で即時のコミュニケーションを可能にしたいと考えたことがサービスの開発のきっかけ。

開発まで多くの年月を費やし、2015年リリース。

2021年現在、JALグループ、JR東海グループ、イオングループなど、多くのお客さまに支えられ、Apple社の支援を受け、世界中へのサービス提供基盤を展開。

※デスクレスワーカーとは机の前に座らない最前線で活躍する労働者のこと。
農業、教育、ヘルスケア、小売、ホスピタリティ、製造、輸送、建設などの産業に従事しております。



大手企業からSMBまで

440社を超えるお客様が導入中

ホームページを見る

無料トライアルをする

お問い合わせ

